

平成29年度行政評価 施策評価シート (平成28年度実績)

施策名 活力づくり

施策コード 050201

1. 施策の担当	
主管課	生活産業部 まちの活性課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第5章 活力をうみ、賑わいのあるまちづくり (活力・賑わい)	節 第2節 観光
	施策	活力づくり	

**基本方針**

- 観光協会が市の観光振興の一翼を担えるよう、観光協会の基盤強化、機能の充実、他団体との連携を支援します。
- 豊富な観光資源を活用し、市民団体等が主催する催しを支援します。
- 本市への来訪者が、快適に回遊、滞在できるように既存の観光資源の連携を図るほか、関係団体等のホスピタリティの向上を支援します。

**現況と課題**

- 泉佐野観光ボランティア協会等の関係団体の育成を図り、さらに多数の来訪者が一日快適に回遊し、滞在できるようなホスピタリティあふれる受入れ体制の充実が求められています。
- 泉佐野市観光協会その他関係団体とともに、豊富な観光資源をいかしたイベントの開催を通じ、一定の集客を確保しています。
- 市の玄関口となる泉佐野駅周辺の活性化を図るため、産官学が参画するプロジェクトにおいて、駅周辺でイルミネーションの点灯などの事業を実施しています。
- 郷土芸能の集いなどを通じて、歴史ある伝統文化を継承するとともに、地域コミュニティの形成に努めています。
- 既存の自然、歴史、文化等の観光資源をいかし、集客性及び滞在性を備えたイベントの開催を支援し、新たな観光振興を創造する必要があります。

**施策目標**

対象 (誰を、何を、どこを)  
観光客、旅行業者

意図 (どのような状態にしたいのか)  
関西、日本各地、海外から多くの人々が訪れるよう、泉佐野の特色や魅力を活かしつつ集客力の向上を図り、人々の交流を生み出します。

3. 市民ニーズ							
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
満足度 (偏差値)	46.5						
重要度 (偏差値)	41.9						

4. 施策にかかるコスト								
	単位	H27決算	H28決算					
コストの内訳	人件費	千円	47,557	18,734				
	事業費		59,379	130,348				
	フルコスト		106,936	149,082				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		713	673				
	市債		0	0				
	その他		42,034	110,699				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		64,189	37,710				
	一般財源2 (=直接事業費-特定財源)		16,632	18,976				

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		市内の年間宿泊者数					
項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
目標値	790,000.0	800,000.0	810,000.0	1,000,000.0	1,300,000.0	1,300,000.0	1,300,000.0
実績値	1,043,530.0	1,117,003.0	1,298,823.0	1,647,941.0	1,484,872.0		
達成度	132.09	139.63	160.35	164.79	114.22		
指標設定の根拠			目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景		
来訪者が快適に滞在しているバロメーターの一つとして宿泊者数を指標に設定しました。			現状の数値から10年後を15%増やす目標を設定し、5年後の目標を80万人としました。		閑空のお膝元と言う好立地条件と宿泊施設の増加によるものと推測。		

② 成果指標 2		イベント集客数（市内で開催するもの）					
項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
目標値	133,000.0	135,000.0	176,000.0	182,000.0	182,000.0	182,000.0	182,000.0
実績値	160,828.0	170,395.0	151,987.0	99,750.0	145,567.0		
達成度	120.92	126.22	86.36	54.81	79.98		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
本市でのイベント集客数を把握することによって、市民団体等の観光振興に寄与した度合がわかる。	過去の実績と現状を考慮し、目標を10年後とした上で概ね15万人と設定し、5年後の目標は半分の数としましたが、H26以降はH24・25の実績を踏まえるとともに最終目標を達成するための目標値として設定。	大型イベントの再開により集客数は回復傾向にある。

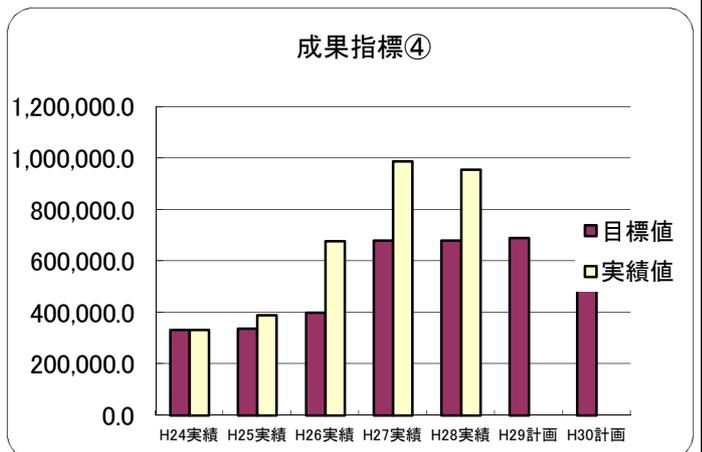
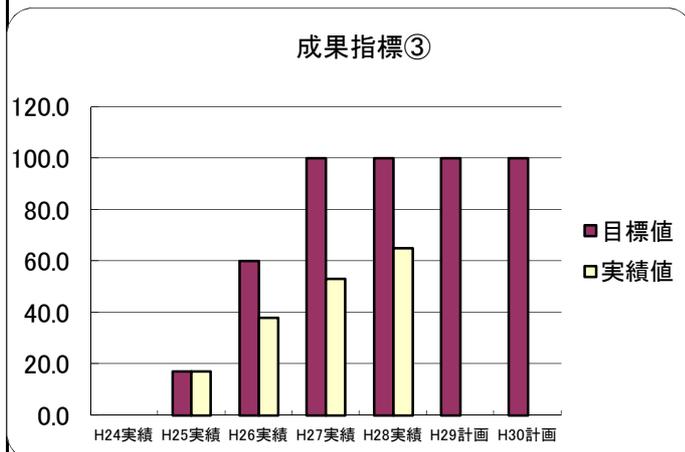
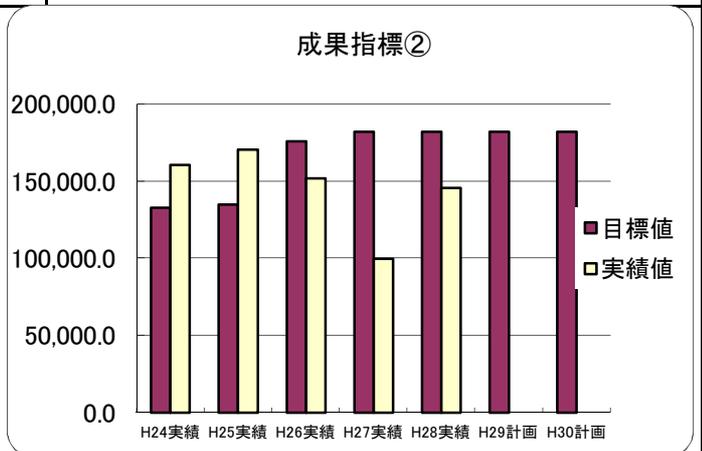
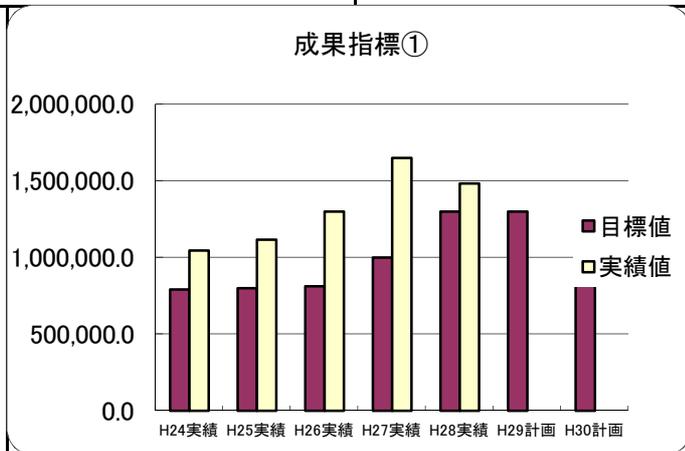
③ 成果指標 3		特区ガイド登録者数					
項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
目標値		17.0	60.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値		17.0	38.0	53.0	65.0		
達成度		100.0	63.33	53.0	65.0		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
市域が地域活性化総合特区として指定され、国より認定を受けた計画において、特区ガイドの養成を実施することとしていることから指標として設定。	国から認定を受けた計画にて、特区ガイドを100人養成することとしている。（平成27年度末）	養成研修受講者23名のうち12名が登録。

④ 成果指標 4		市内の年間外国人宿泊者数					
項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
目標値	332,830.0	337,000.0	400,000.0	680,000.0	680,000.0	690,000.0	700,000.0
実績値	332,830.0	390,224.0	678,186.0	989,991.0	957,361.0		
達成度	100.0	115.79	169.55	145.59	140.79		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
海外からの来訪者が快適に滞在しているバロメーターの一つとして外国人宿泊者数を指標に設定しました。	現状の数値から毎年1.5%増やす目標を設定しましたが、H26以降は、H24・25年度の実績を踏まえるとともに、最終目標を達成するための目標値として設定。	閑空のお膝元と言う好立地条件と宿泊施設の増加によるものと推測。

図表



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) <b>4</b>	H24年10月に関西国際空港第2ターミナルのオープン、LCCの就航などにより、関空の利用者の増加に伴い、外国人宿泊者数が増加していると考えられる。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) <b>2</b>	参加型のイベントに集客が多く、特に子供が参加するイベントについては保護者の満足度が高い。 平成24年市民アンケートの満足度(偏差値)は、46.5となり平成19年調査と比べ低下した。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) <b>3</b>	平成22年の中国のビザ発給要件緩和により中国人観光客が増加、また戦略的なビザ発給要件緩和によりインドネシア・フィリピン・ベトナム等の観光客も徐々に増加。平成23年12月には「りんくうタウン・泉佐野市域」地域活性化総合特区の指定を受け、また平成24年3月には「訪日外国人旅行者の受入環境整備に係る外客受入地方拠点」に選定され、当市の訪日外国人を対象にしたソフト・ハード整備が強化される可能性が高い。
	合計点	(10点中) <b>9点</b>	
	総合評価	<b>A</b>	関西国際空港のお膝元と言う地の利を活かし、今後も目標の達成、更新に注力する。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)	<b>B</b>	特区ガイド登録者数の増加に努めること。	
三次評価 (理事者による評価)	<b>B</b>	特区ガイド登録者数の増加に努めること。	

7. 施策を構成する事務事業							
	予算コード	事務事業名	H28年度決算額			H29年度予算	一次評価
			人件費	事業費	一般財源		
1	01037300	観光振興事業	13,896	79,944	14,368	130,831	B
2	01083252	シビック・モール事業(まちの活性化課)	4,838	50,404	4,608	16,067	C
合計			18,734	130,348	18,976	146,898	